

助産学特論

単位数：2 単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
秋鹿 都子：臨床看護学講座准教授
荒木ももこ：臨床遺伝診療部 副看護師長

1. 科目の教育方針

助産学の概念、意義、母子保健・医療・福祉政策、看護政策の動向、女性、子ども、パートナー、家族がおかれている社会的背景・状況、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの現状と課題について学修し、助産師に期待される役割、責務、活動範囲について考察し、対象に必要な援助を追求できる能力を培う。

助産師として対象の尊厳と権利を尊重した専門職的倫理を理解し、助産師の責務と規範を学ぶ。

2. 教育目標

- 1) 助産の基本概念を理解し、助産師としてのアイデンティティ確立の動機とする。
- 2) 助産業務に関わる倫理規定や法律について理解する。助産師の専門職性を理解する。
- 3) 助産師と倫理について理解し、助産師の基本的態度について考えることができる。
- 4) リプロダクティブ・ヘルス/ライツの背景と現状を理解し、今日的課題について考える。
- 5) 女性と家族の健康を支援するための研究・実践への理解を深め、ウィメンズヘルスにおける助産ケアについて考察する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義および学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

講義は主に対面講義で進め、Webex、Teamsによるライブ配信、オンデマンドも併用する。

【評価】

筆記試験、プレゼンテーション・レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

【使用テキスト】

- 1) 我部山キヨ子編：助産学講座 1 基礎助産学[1] 助産学概論, 第 5 版, 2015, 医学書院
- 2) 我部山キヨ子編：助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学, 第 6 版, 2021, 医学書院
- 3) 我部山キヨ子編：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健, 第 5 版, 2016, 医学

書院

- 4) 福井トシ子編：[新版]助産師業務要覧Ⅰ第3版 基礎編，日本看護協会出版会
 5) 福井トシ子編：[新版]助産師業務要覧Ⅱ第3版 実践編，日本看護協会出版会

5. 教育内容

回	日時	内 容	講師
1	4/9 14:55~	助産学コース概要オリエンテーション 助産の概念：助産の原則原理、医学モデルと助産モデル	橋本
2	4/13 10:25~	助産の概念：助産の原則原理、医学モデルと助産モデル 助産師の専門職性と業務、助産師業務の法的根拠	橋本
3	4/21 13:00~	助産と倫理 プロフェッショナリズム、職業倫理	橋本
4	4/28 13:00~	助産師に求められる役割と能力(1)演習 周産期医療、母子保健の現状と課題、国内外のリプロダクティブ・ヘルス・ライツの現状	橋本
5	5/7 13:00~	助産師に求められる役割と能力(2)演習 社会・家族の中の暴力におけるジェンダー分析、虐待	橋本
6	5/13 10:25~	助産師に求められる役割と能力(3)演習 少子化、社会背景、事業・政策	橋本
7	5/21 13:00~	ウィメンズヘルス (1) : 思春期、成熟期、更年期に見られる健康問題、	橋本
8	6/4 13:00~	助産の歴史、母子保健の歴史、助産研究 助産師教育制度の変遷と課題	橋本
9	6/22 13:00~	母性・助産学を構成する理論(1) 自己効力感 (バンデューラ)、	秋鹿
10	6/29 13:00~	母性・助産学を構成する理論(2) ストレス・コーピング理論 (ラザルス) セルフケア理論 (オレム) (演習)	秋鹿
11	10/4 10:25~	助産師のコアコンピテンシー、助産師の活動の場についての展望 今後の助産師の働き方 (演習)	橋本
12	後期	目指す助産師になるために必要なスキル (演習)	橋本
13	後期	助産師の専門性とIPW	橋本
14	後期	生命倫理(1) 出生前診断と遺伝カウンセリング	荒木
14	後期	生命倫理(2) 出生前診断と遺伝カウンセリング	荒木